

大分県宇佐市		●活動名 西馬城放課後チャレンジ教室			●関係する学校名 宇佐市立西馬城小学校	
協働活動開始年度	平成 19 年度	学校運営協議会	指定・設置日 平成30年4月1日設置	地域学校協働本部	有	
活動区分	学校支援活動		—	—		
	—		放課後子供教室	—		
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		
	1人		—	1人		
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無	ICT機器活用	無	
	124人	—	—	—	—	
参考URL	https://www.usacoco.jp/parenting/afterschool/challengeclassroom/					
●連絡先	宇佐市教育委員会 社会教育課			☎ 0978-27-8198		



●活動の概要・経緯

西馬城地区は地域全体で小学校を支えていく風習があり、地区と学校が合同で開催する「ふれあい運動会」での昼食の炊き出しカレーや「特認校発表会」での西馬城太鼓、歴代PTA会長・OB会からなるゲストティチャーとしての学校支援、「高齢者学級ありがとうの会」など、学校と地域との関わりが長年にわたり密接である。平成6年に「西馬城の子どもを育てる会」が結成され、年々減少していく児童数に歯止めをかける目的で同会により平成17年度に「西馬城児童クラブ」が発足した。平成19年度には「西馬城放課後子ども教室」、21年度には「学びの教室」(28年度終了)事業が相次いで開設され、月曜から金曜日を通した放課後の子どもの居場所づくりと安心・安全な見守り体制ができ、地域住民主体で14年間にわたり活動を継続している。

なお、西馬城小学校は平成13年4月に宇佐市小規模校特認校となり、校区外からの児童の受け入れを市内で唯一実施している。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

平成19年度から「放課後子ども教室」を開設し、市内の教室の中でも活動年数が長い。コーディネーターやサポーターは現在関わっている6名中4名も開設当初から在籍し長年指導にあたっている。「チャレンジ教室」は年間40日、毎週水曜日15時～18時の開催で、5年程前からサポーターの得意分野を活かし、年間通じて書道・囲碁・将棋に内容を特化し、コーディネーターを中心にそれぞれ担当を決めてプログラムを組み専門的に指導している。また、校区外から通学する児童の放課後の受け皿として保護者にも負担が少なく好評となっている。さらに学校支援活動として、鍛錬遠足では地域ボランティアとともに環境整備の清掃も併せて登山をしている。

【実施に当たっての工夫】

学校の管理職とコーディネーターが連携し活動方針の共有に務め、学校便りの参加者募集や活動紹介、申込み受付、開・閉級式での校長挨拶などが行われている。また、学校支援活動を通じ地域ボランティアとの交流が盛んに行われている。さらに「チャレンジ教室」が生活時程表に記され、児童の学校での生活サイクルの一部として認識されている。

【関係機関・団体等との連携状況】

「チャレンジ教室」のコーディネーターやサポーターは「児童クラブ」の活動の企画や見守りにもあたっている。このため、水曜日の放課後の見守りは「チャレンジ教室」が、月、火、木、金曜日は「児童クラブ」が担当している。「チャレンジ教室」のみの利用や、どちらも利用するなど、家庭のニーズに合わせて選択することができる。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

「チャレンジ教室」では、特に高学年は低学年の頃より毎週活動に取組んでいるので、囲碁・将棋は技術面においても成長している。また、書道では、3年連続で全国版の「入木公募展」で「チャレンジ教室」参加児童が毛筆・硬筆の部において金賞・銀賞・努力賞など全員入賞した。授業中での態度も落ち着いて取り組めており、他の児童の見本となっている。また「チャレンジ教室」の活動だけでなく、全校の児童がコーディネーターやサポーターをはじめ多くの地域の大人と接することにより、活動場所の清掃や片づけ、日頃からのあいさつ、礼儀作法、靴そろえ、下級生への指導など基本的なマナーや社会性を学んでいる。

● その他

住民自治組織である「西馬城まちづくり協議会」から備品等の援助を受けている。また児童とのふれあいは、サポーターの健康増進・生きがい、さらに地域の活性化にも繋がっている。なお、「児童クラブ」は地域住民の出資による自主財源のみで運営されている独自の取組である。



手作り将棋盤で対局指導中



今年の木工教室は椅子作り